

いつまでも安心して暮らし続けられるまちづくり 認知症の方にやさしいお店 ● チームオレンジすその 発足

誰もが認知症になる可能性があります。そうであってもいつまでも好きなどころに一人で出かけられる自分でいたい。それを見守る人、地域、コミュニティがあるまちでありたい……。新たな取り組みが始まります。

介護保険課 ☎995-1821



認知症とは

認知症とはいろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりしたため、さまざまな生活上の障害が出ている状態のことです。

認知症は誰でもなりうる脳の病気によって起こります。とりわけ、年齢が高くなるほど認知症の有病率が上がり、令和7年には高齢者の5人に1人が認知症になると推計されています。

地区別 認知症有病者数(推定)

もしも5人に1人が認知症だとしたら…

そのうち半数以上は地域で生活しています (令和6年1月現在)

	高齢者数 (人)	推定有病者数 (人) (その半数)
西	3,634	727 (364)
東	4,248	850 (425)
富岡	3,529	706 (353)
深良	1,792	358 (179)
須山	853	171 (85)
市全体	14,056人	2,812人 (1,406)
認知症予備軍 (4人に1人) を含めると		3,514人 (1,757)

地域で暮らしている人の数

認知症の症状 (主にアルツハイマー型)

症状	具体的な言動
① 記憶力の低下	ひどい物忘れ・新しい記憶が抜け落ちる
② 見当識の低下 (人や状況を理解する力)	時間・場所・人がわからない 季節に合わない服装、夜中に活動する、近所でも道に迷う 家族のことがわからない
③ 理解力・判断力の低下	新しいルールが飲み込めない、正しい方を選べない 考えるスピードが低下、2つ以上の事を同時に行えない、予定外の出来事に混乱しやすい
④ 実行機能の低下	慣れているはずのことが段取りよくできない 料理、家事、慣れた仕事

認知症の人の気持ち……

ある日突然認知症になるわけではありません。認知症になったからといって、何もわからなくなるわけではありません。今の自分と同じように感情があり、自らの変化に戸惑い、不安を感じます。



物忘れのつらさ

誰でも、物忘れした時には心がモヤモヤしたり、不安な気持ちになります。認知症の人も同じように、いつも心の中に不安で落ち着かない気持ちがあります。

できなくなってきたことの悔しさ

認知症になると、仕事や家事など普段何気なくできたことに失敗が増えてきます。失敗を周りの人から指摘されたりして悔しい思いをしたり、少しずつ自信を無くしてしまったりします。

認知症の人への対応の

驚かせない

急がせない

自尊心を傷つけない

具体的なポイント

●まずは見守る ●余裕をもって対応する ●声をかける時は1人で ●後ろから声をかけない ●優しい口調で ●穏やかに、はっきりした話し方で ●相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

認知症の人を支える仕組みづくり

認知症サポーターがチームを組み、認知症の人やその家族の生活を支えあう仕組みを作ることで、認知症になっても人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちの実現を応援します。支援する・される関係でない「ありがとう」が生まれる支えあいのコミュニケーションです。

当たり前の暮らし
買い物が見たい

こんなまちがいいな

チームオレンジとは

認知症サポーターがチームを組んで、認知症の本人の思いを尊重しながら、本人と家族の暮らしをサポートする活動です。

「認知症の方にやさしいお店」チームオレンジすその加盟店は、「希望をかなえるヘルプカード」が安心して使えるお店です。



市まるごとチームオレンジ化計画

まずは、暮らしに身近なスーパー、ドラッグストアから

具体的な取り組み

希望者に「希望をかなえるヘルプカード」のグッズを市役所介護保健課・包括支援センターで配布します。連絡先の共有や買いたいものリスト、お願いごとをカードに書いて提示します。



カードの裏面に以下のようなメッセージを作ってカードケースに入れておきましょう。



- 教えてください**
チャージの金額が500円以下になったら教えてください。チャージして帰りたいです。
- 私は若年性認知症です**
手続きや操作に時間がかかることがあります。ご協力をお願いします。
- 代筆をお願いします**
〇〇の手続きがしたいです。代筆・代読をお願いします。

ヘルプカードはみんなの希望をかなえるカード

今まで	ヘルプカードがあれば…
家族に言われて手続きに来たけど、何だったかしら	カードを見せれば、うまく説明できなくても伝わって嬉しい
困ったあ何の手続きにきたのだろう…	何がしたいのか、何をサポートすればいいのかすぐにわかって、とてもありがたい!

店舗との橋渡し

認知症の本人、家族が望む場合、「希望をかなえるヘルプカード」がスムーズに使えるように、お互いの顔が見える関係づくりのため、介護保険課や包括支援センターの職員などが同行し、店舗の担当者に紹介することもできます。

認知症にやさしいお店加盟店



加盟店はオレンジののぼり旗とステッカーが目印です。店頭で提示されていますので確認してください。加盟を希望する場合、サポーター養成講座などのセミナーを受講する必要があります。現在、スーパー・食料品店など7店舗、ドラッグストア9店舗の16店舗と、市役所、包括支援センター2カ所が加盟しています。



株式会社クリエイトエス・ディー
店舗運営本部エリアマネージャー
長島 知香さん

地域の方に愛される店舗を目指す中で、安心して買い物ができる、認知症の方と店舗がつながって地域を作る、そういう事業に関わることができて大変光栄です。社内には認知症認定薬剤師もいますので、相談する仕組みづくりもできています。